

J D . L E A G U E (ジェイディーリーグ) 競技規程  
< Japan Diamond Softball League Game Regulation >

第1条 (名称) J D . L E A G U E (ジェイディーリーグ/J Dリーグ) とする。

第2条 (構成) 16チームで構成する。その内、東地区に8チーム、西地区に8チームが所属する。

第3条 (組織) 公益財団法人日本ソフトボール協会 (以下「日本協会」という) の傘下に一般社団法人日本女子ソフトボールリーグ機構 (以下「J Dリーグ」と呼ぶ) を組織し同法人が競技運営する。

第4条 (主催) 日本協会およびJ Dリーグがリーグ公式戦を主催する。

第5条 (チーム編成) 以下内容に基づきチームを編成する。

- (1) 当該年度に所属する支部協会を通じ日本協会に登録している。
- (2) 当該年度開幕の1か月前までに「選手登録名簿」を提出したチーム
- (3) 登録の変更がある場合は、その出場しようとする試合の1週間前までに「選手登録名簿」をリーグに提出しなければならない。
- (4) 選手の登録期限は、選手の登録人数30名以内であれば、毎年7月末日を期限とし、所属支部協会を通じて選手の追加登録を認める。

第6条 (ベンチ入りメンバー) ベンチ入りメンバーは以下の通りとする。

- (1) チーム代表者、実行委員の中から1名 (選手登録名簿では部長と呼ぶ)、監督1名、コーチ2名以内、ドクター1名、トレーナー2名以内、スコアラー1名、通訳2名以内、選手25名以内
- (2) ベンチ登録名簿 (ラインアップカード) の提出期限は、毎試合開始45分前までとする。

第7条 (チーム名称) J Dリーグが別に定める様式にて、企業名称、チーム名称 (企業名称もしくはブランド名称・愛称) 及び呼称並びにチーム所在地、チーム窓口等を登録しなければならない。

第8条 (競技ルール) 当該年度のオフィシャル・ソフトボール・ルールに準ずる。ただし以下の項目については、一部J Dリーグによる独自ルールを採用する。

- (1) 引き分け

延長9回終了時点で同点の場合は引き分けとして結果を取り扱う。また、荒天や日没

でのコールドゲーム（試合打ち切り）となった場合、その時点で同点の場合も同様に扱う。ただし、ポストシーズン等勝敗を決める必要のある試合に関しては、その限りではない。

（２）タイブレーク

7回終了時で同点の場合に実施するタイブレーク方式を以下の通りにする。

8回表裏はノーアウト2塁から競技スタートとする。

9回表裏はワンアウト2塁、3塁から競技スタートとする。

ポストシーズン等、引き分けを採用しない試合に関しては、10回以降もワンアウト2塁、3塁でタイブレークを継続する。ただし、同点で試合続行が不可能な場合は引き分けとして試合を終了し、後日再試合とする。

（３）得点差コールドゲーム

採用しない。

（４）サスペンデッドゲーム

採用しない。

第9条（競技方法）以下の方法で試合を行う。

（１）試合方法

A. レギュラーシーズン

東西同地区内で3回戦行う。東西別地区チームとの交流戦を1回戦行う。合計年間で1チーム29試合を行う。

B. ポストシーズン（プレーオフ・ダイヤモンドシリーズ）

レギュラーシーズンの地区優勝チームはダイヤモンドシリーズに進出する。

レギュラーシーズンの各地区2位チームと3位チームはプレーオフに進出する。

レギュラーシーズンの東西地区4位チームのうち、勝率の高い1チームがワイルドカードを獲得し、プレーオフに進出、出場チームと別地区の3位チームと対戦する。

ポストシーズンはトーナメント方式（1回戦）で行われ、ダイヤモンドシリーズで優勝したチームが年間チャンピオンとなる。

（２）順位決定方法

レギュラーシーズンの勝率の高い順とする。勝率が同じ場合は次の順序により決定する。

1. 該当チーム同士の対戦成績

3 チーム以上が勝率で並ぶケースで、対戦成績が同率になった場合は、さらに、その並んだチーム同士の対戦成績で順位を決定する。

2. 該当チーム同士の対戦得失点差
3. 総得失点差
4. 総失点
5. 前年度の順位が上位のチーム（初年度は日本リーグ成績を引き継ぐ）

第 10 条（使用球） J S A 検定革製 3 号球とし、主催者が用意する。

第 11 条（表彰）表彰はチーム及び個人に対して次のように行なう。

1. リーグ表彰

(1) チーム

地区優勝

(2) 個人

以下の個人表彰について東西地区別に表彰する。なお、選出にあたっては、別紙「個人表彰選出基準」に基づき表彰委員会にて決定する。

最高殊勲選手賞 1 名

最優秀防御率賞 1 名

最多勝利投手賞 1 名

首位打者賞 1 名

最多本塁打賞 1 名

最多打点賞 1 名

最多盗塁賞 1 名

ベストナイン 10 名（ DP を含む）

新人賞 2 名（野手・投手）

2. ダイヤモンドシリーズ表彰

(1) チーム

優勝

準優勝

(2) 個人

最高殊勲選手賞 1 名

優秀選手賞 2 名

### 3. 特別表彰

前項の表彰対象者以外で、当該年度にめざましい活躍をした個人や、リーグの発展と競技普及に多大な貢献がみられたチーム、個人もしくは各種団体等に特別表彰を行うことができる。表彰内容およびその選出については表彰委員会にて別に定める。

第12条（選手の移籍）選手の移籍に関して以下の通りとする。

（1）選手の移籍とは、J Dリーグ加盟チームの選手が前年度所属していたチームを退部後、翌年度以降に他のチームへ異動した場合をいう。

（2）移籍を希望する選手は、チーム代表者へその意思を表明する。ただし、選手の希望により第三者への意思表示を希望する場合はリーグ機構が指定する機関がその第一窓口となることができる。

（3）該当する選手について、所属チームは速やかに「支配下登録抹消届」をリーグ機構に提出し、意思表示期間内に、移籍意思を表明しなければならない。リーグ機構は「支配下登録抹消届」を受領し、該当する選手の移籍意思を確認した後に公示を行う。

【意思表示期間】 12月1日～12月末（随時公示）

（4）移籍希望選手の公示当日から受け入れを希望チームは該当する選手と移籍に関する交渉を行うことができる。なお、交渉の第一窓口は、チーム代表者とする。

【交渉期間】 移籍希望選手の公示後から1月末

（5）12月末以降に移籍希望の発表がされた場合は選手の権利侵害にあたり、所属チームに罰則を科す可能性がある。なお罰則については、裁定委員会にて審議する。

（6）2月1日にリーグ機構から選手の移籍情報を公示する。

（7）引退表明した選手が自チーム以外で復帰することを希望する場合は、意思表示期間の翌々年度からの登録を認める。

（8）移籍選手を受け入れるチームは年間2名までの受け入れ可とする。なお、この2名に関しては、外国人及びJ Dリーグ以外の他女子ソフトボールリーグ（日本リーグ等）からの新規入団は含まない。

第13条（外国人選手）日本協会チーム登録規程附則に準ずる。また出場機会制限についてはこれを設けない。

第14条 この規程の改廃は、理事会の決議を経て行う。

附 則

この規則は、2022年3月1日から施行する。

改 訂

2022年9月22日改訂

2025年5月22日改訂

【JD.LEAGUE 競技規程 別紙】

個人表彰選出基準

(1) 最高殊勲選手賞

表彰委員会にて選考し決定する。

(2) 最優秀防御率賞

防御率 1 位投手を選出する。(規定投球回数以上の選手が対象)

・規定投球回数：当該チームの全試合×2.0 (6/3) 以上の投球回数 (小数点以下切捨て)

(3) 最多勝利投手賞

最多勝利投手を選出する。

(4) 首位打者賞

打撃率 (打率) 1 位選手を選出する。(規定打席数以上の選手が対象)

・規定打席数：2.1×当該チームの全試合数 (小数点以下切捨て)

(5) 最多本塁打賞

本塁打数最多選手を選出する。

(6) 最多打点賞

打点数最多選手を選出する。

(7) 最多盗塁賞

盗塁数最多選手を選出する。

(8) ベストナイン

投手・捕手・一塁手・二塁手・三塁手・遊撃手・外野手 3 名、指名選手 (DP)1 名の計 10 名を選出する。

<選出基準ポイント>

投手：規定投球回数以上の選手で「勝利数×勝率－防御率×2.0」の計算式により得たポイントにより選出する。

野手：規定打席以上の選手で、各守備位置の打撃率1位（外野手の場合は打撃率3位）選手の打撃率から5分以内の選手を対象とし、「貢献ポイント獲得表」により得たポイントにより選出する。

<守備位置>

・守備位置は最も多く守備した位置が当該選手の守備位置となる。

尚、守備した位置が同数の場合は、当該シーズンの最終守備位置とする。

※指名選手（DP）が守備を兼ねた場合は、守備についた回からその位置が当該選手の守備位置となる。また、指名選手（DP）が守備を兼ねた為、守備位置がなくなり「打撃のみ」となった選手は守備位置がなくなったものとする。

貢献ポイント獲得表

項目	率・数	倍率	獲得ポイント	項目	率・数	倍率	獲得ポイント
打撃率	率	200		四死球	数	1	
塁打数	数	0.5		失策	数	-1	
盗塁	数	1		得点	数	1	
打点	数	1		犠打	数	1	
				合計獲得ポイント			

(9) 新人賞 2名（野手・投手）

野手・投手各1名とする。

野手は大学・高校・専門学校の新卒1年目の選手に限定し、表彰委員会で選出する。

投手は大学・専門学校の新卒1年目の選手に限定し、高校の新卒は2年目までの選手に限定し、表彰委員会で選出する。

外国籍の選手については日本国内の学校を卒業したものであれば対象とする。  
新人賞の受賞は1回とする。

(10) 永年選手功労賞 ※日本ソフトボール協会表彰規程に準ずる  
高卒10年目、短大卒8年目、大学卒6年目を迎えた選手を対象とし、原則当該年度のホームゲーム開催時に表彰を行う。  
※外国籍の選手については、出身校が海外であっても対象とする。

以上